

きたほ Hot Line

No.599 9月号 2025

仙台北税務署 署長
新署長就任
インタビュー **齊藤 克巳** 氏

多様な出会いが「気づき」に繋がる
自分の幅を広げる交流を

仙台北税務署



interview

新署長就任
インタビュー

仙台北税務署 署長

齊藤 克巳 氏

多様な出会いが「気づき」に繋がる 自分の幅を広げる交流を

令和7年7月、齊藤克巳氏が仙台北税務署署長に就任された。広報委員会のメンバーがご挨拶に伺い、これまでの仕事について、また税務行政に貢献する仙台北法人会の活動についてなど伺った。

これまでの仕事で
印象に残っていることは

平成14年の仙台国税局課税第二部法人課税課（監理第三係長）での3年間は、一番思い出深いですね。係長1年目は、企業がグループ全体で申告を行う「連結納税制度」（※）の導入の年でした。初めてできた法律に向き合い、右も左も分からない中、東京局の調査部にある親法人と東北の税務署（52署）にある子法人を一つずつひも付けしながらの作業でした。人生で一番、税法を読み込んだという思いがあります。

残りの2年が「e-Tax（国税電子申告・納税システム。平成16年6月に開始）」。



まで紙の申告で、特に3月の決算時期には、山のような申告書と格闘していました。「電子証明書って何？」というところからスタートして、電子証明書の発行事業者はじめ、関係する民間団体、企業と初めて直接話をし、重要性を認識しました。

震災が示した 電子化の重要性

今は事業者の電子申告は9割ほどに達し、申告だけではなく納付にも広がっています。キャッシュレス納付など、20年でもよくここまで思うほど利便性が向上した。個人の申告も行政手続きのオンラインサービス「マイナポータル」と連携し、まさに税務署のキャッチフレーズ「書かない申告」というのが、目の前まで来た状態です。そういえば、東日本大震災のあった平成23年7月に仙台に戻りましたが、津波で流されたり水を被ったりした申告書が相当あった。被災した税理士の方もクラウドや電子申告で保存している分はデータが残っており、こ

れからはこういう時代なんだと実感しました。

振り返れば、新制度など新しい仕事に巡り合う機会が多かったと思います。徴収部管理運営課（平成21年）も、税務署の二元化を進めるために管理運営部門ができた年でした。幸いなことに部門を越えた異動を経験し、いろいろな人と交流してきたことは、今の仕事にも非常に役立っています。署内に今160人ぐらいいますが、新人以外はだいたいどこかで一緒にさせてもらっている。そうした巡り合わせは、非常にありがたく感じています。

若手の職員とのコミュニケーションで大事にされていることは

組織として、非常に環境の変化が激しい今、それぞれが仕事の根底にある目的、目指す方向を理解して、思いを共有することが大事です。意欲を高めるにも、仕事の手段は人それぞれ違っていい。でもみんな同じ方向を向いて目的を達成するために、1人1人

ときちんとコミュニケーションを取ることが、私のやるべき仕事だと思っています。

お忙しい中でのリフレッシュの方法などお持ちでしょうか

忙しいですが、若い頃に比べればデジタル改革、働き方改革による時代の変化を感じますね。今は年次休暇を年間15日以上取得することを勧められ、しっかり休んでいます。

新しい店や食べ物に興味があるので、週末は必ず妻と街をぶらぶら歩いています。地元青森にはたまに帰りますが、今年は還暦祝いの同窓会があるんですよ。地元で活躍する同級生に会うのが楽しみです。あとは年に1度の海外旅行を目標に仕事を頑張っていますね。

北法人会の活動に対しての感想や、今後期待することは

仙台北法人会は女性部会や青年部会など非常に活動が活発ですね。「絵はがきコン





クール」や「租税教室」では大きなお力添えをいただいています。そうした活動は、若い世代の税への関心を誘う貴重な機会。これからも社会貢献活動の一つとして続けていただくことを期待しています。

租税教室の後は、小学生の税に対しての感触が良くなるのを感じます。今小学6年生が対象ですが、もう少し低学年から始めてもいいのかなと思っています。

小学生もタブレットを使っているので、紙ベースの講習を変えるなどして裾野をどんどん広げていくというのはいいですね。

租税教室ではそのタブレットも1人1台、税金で購入しているんですよ、大切に使うてくださいと伝えていきます。これからも活動を通して税務行政に貢献したいと思っています。仙台北法人会の会員に、改めて一言お願いします。

私の経験から、人との交流が自分の成長に繋がったと

思っています。異業種が集い活動を共にする仙台北法人会の皆さんは、互いの交流の中で「気づき」や「商機」を見出し、ますます発展して欲しい。仙台は東北の中では商圏が大きく、情報もそれなりに入ってくるイメージがありますが、やはり東京や大阪と比べると、まだまだ我々が知らない情報や商売が存在するわけです。自分の幅を広げる意味でも、多様な交流をどん

どん繰り広げて、人として、そして企業として成長していただけると非常にありがたいと思います。

※連結納税制度（親法人と、支配関係があるすべての子法人をひとつのグループとして、親法人がそのグループの所得（連結所得）の金額等を連結確定申告書に記載して法人税の申告・納税を行う制度。



副署長

熊谷 智志
くまがい さとし



出身県／岩手県
趣味／映画鑑賞
信条／創意工夫
抱負／納税者の税務行政に対する理解と信頼の確保に努めます。

副署長

西依 耐美
にしより たえみ



出身県／千葉県
趣味／ウォーキング
信条／一期一会
抱負／信頼される税務行政に努めます。

総務課長

湯瀬 昌貴
ゆせ まさたか



出身県／秋田県
趣味／ドライブ
信条／継続は力なり
抱負／納税者サービスの充実に努めます。

税務広報広聴官

小笠原 恵
おがさわら めぐみ



出身県／青森県
趣味／山歩き・ワイン
信条／変化を恐れず、しなやかに
抱負／地域社会と税務行政の架け橋となれるよう、伝わる広報に心掛けます。

法人課税第二部門
統括国税調査官

佐々木 治
ささき おさむ



出身県／福島県
趣味／読書・散歩
信条／自分に厳しく・仲間にやさしく
抱負／法人会の皆さんと協力しながらお互いに意義のある一年を送りたいと思います。

審理専門官

及川 辰也
おいかわ たつや



出身県／岩手県
趣味／朝ラー＆サウナ
信条／なんくるないさあ
抱負／納税者からの信頼と、会員の皆様との連携・強調による税務行政の二刀流に努めます。

連絡調整官

平戸 譲
ひらと ゆずる



出身県／青森県
趣味／旅行
信条／健康第一
抱負／日々いろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

令和7年度税制改正による所得税の基礎控除の見直し等について

令和7年度税制改正により、所得税の「基礎控除」や「給与所得控除」に関する見直し、「特定親族特別控除」の創設が行われました。

これらの改正は、原則として、令和7年12月1日に施行され、令和7年分以後の所得税について適用されます。このため、令和7年12月に行う年末調整など、令和7年12月以後の源泉徴収事務に変更が生じます。(令和7年11月までの源泉徴収事務には変更は生じません)。

改正点の概要は次のとおりです。

詳しくは国税庁の
ホームページをご覧ください。

- ① 基礎控除の見直し
- ② 給与所得控除の見直し
- ③ 特定親族特別控除の創設
- ④ 扶養親族等の所得要件の改正



また、11月11日(火)及び13日(木)の14:00～16:00に仙台北税務署2F会議室で「年末調整説明会」を開催します。

この説明会で、今回の改正に伴う注意点を説明しますのでご参加ください。

「説明会」は予約制となっておりますので、仙台北税務署法人課税第二部門(022-204-7578)まで、予約をお願いします。

第2回通常理事会を開催

8月19日(火)、江陽グランドホテルにおいて通常理事会が開催され、定期異動で7月に着任された齊藤仙台北税務署長などを来賓に迎え、業務執行理事の業務報告や新入会員、今後の事業計画等の議題が上程され、審議の上、承認されました。また、支部並びに委員会、部会から事業報告がなされ、中でも「税を考える週間事業」について、本年もさんだいメディアテークにおいて10月25日(土)に部会の皆さんから協力をいただきながら開催することになりました。

齊藤署長からは、租税教室の講師派遣をはじめとした税の啓蒙活動、税に関する情報提供に対する感謝のお言葉や、キャッシュレス納付の促進についてお言葉がありました。菅原会長は、「仙台北法人会の活動が多くの方に見える公益的事業を着実に進め、新たな仲間を作りたい」と語り、役員皆、改めて意識を共有しました。



中央支部 今年も七夕事業に協賛しました！

中央支部(栗原将光支部長)では、今年も青葉区上杉地区の七夕まつりに協賛し、手作りの七夕飾りを出展しました。

7月24日(木)、阿部和工務店様の会議室をお借りして七夕制作会を開催。使い古しの包装紙やポスターなどを活用しオリジナルの七夕飾りを完成させました。また七夕まつり前日の8月5日(火)には、猛暑の中青竹を運び飾付けを行い、割り当てられた設置場所へ七夕竿を無事設置することが出来ました。そしてその3日後(8日(金))には飾り付けた七夕飾りを取り外す日となり、こちらも大変な猛暑の中、撤去と周辺清掃を行いました。

七夕まつりと同時開催の七夕ポスター展では、ポスター審査会(7/22(火))と表彰式(8/11(月)山の日)に参加し、審査と贈呈それぞれのお手伝いをさせていただきました。



7/24制作会



8/5取り付け

泉東支部・泉西支部 泉区民ふるさとまつり清掃活動に参加

泉東支部(高橋渉支部長)と泉西支部(佐藤渉支部長)では、『第43回泉区民ふるさとまつり』が開催された翌日の8月24日(日)早朝6時30分から約1時間、ボランティアスタッフとして区民まつり主催の清掃活動に20社・62名で参加しました。

休日の早朝にも係わらずご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



新入会員の紹介 (2025年3月16日～7月31日入会分)

■正会員

2025年5月14日、8月19日通常理事会承認

入会月	支部	法人名	業 種	推薦者・備考 (敬称略)
3月	宮城	(有)アイ・エッチ企画	とび・土木工事業	(株)富樫工業(富樫利和)
4月	黒川	(株)吉川産業	プラスチック再生加工	大同生命保険(株)佐藤圭子
4月	泉西	(株)フコク	足場	AIG損害保険(株)笹嶋和紀
5月	泉東	(株)興盛工業所	管工事業	仙台中法人会より転入
5月	泉西	(株)一工業	土木建設関連	AIG損害保険(株)笹嶋和紀
5月	宮城	(同)花菱	土木工事	AIG損害保険(株)大河内輝夫
5月	北西	澁谷メディカルホールディングス(株)	デイサービス	大同生命保険(株)三好緑
5月	北東	ワークスコミュニケーションズ(株)	サイバーセキュリティ対策及びネットワーク構築	
7月	北東	(株)NSP	太陽光の法人への売電	大同生命保険(株)宮澤麻衣
7月	北東	アームズ電工(株)	電気工事業	大同生命保険(株)宮澤麻衣

■賛助会員(支店法人・管轄外法人・個人)

入会月	支部	法人名	業 種	推薦者・備考 (敬称略)
3月	—	(株)リセンダー	SNSマーケティング	(株)ココロ・コーポレーション(奥山龍也)
4月	黒川	My・style	外構工事	AIG損害保険(株)齋藤大輔
4月	黒川	とみやsoushien	造園・土木	(株)竜門園(齋藤健)&大同生命保険(株)三好緑
4月	—	(株)イノベーションワークス	通信事業者	(株)ココロ・コーポレーション(奥山龍也)
6月	泉東	(株)ジェイコム埼玉・東日本 仙台局	有線テレビ放送事業及び電気通信事業	(株)山一地所(渡部洋平)
6月	北西	(税)プロゲート 仙台オフィス	税理士業	(司)ゴーイング(三浦剛)
7月	泉東	彩和設備	土木建設関連	大同生命保険(株)佐々木美香
7月	—	(株)エイチ・ティー・プランニング	通訳・翻訳・外国人材紹介	南佐松電話店(佐藤英松)

※掲載を辞退された会員様を除いております。

研修事業を続々と開催！～『税務研修会』『被災地復興応援バスツアー』『センスアップセミナー』～

女性部会(佐々木美和子部会長)では、研修事業を開催しました。

去る5月23日(金)仙台北税務署において、法人担当副署長 菊池 守氏による『税務研修会』を開催しました。国税査察官として経験したことをお話いただきました。

そのほか6月4日(水)は『被災地復興応援バスツアー』で、8年ぶりに福島県相馬市を訪れ、相馬市観光協会のご協力のもと被災した地域を巡りました。「伝承鎮魂祈念館」では相馬の語り部として活動する(株)広栄土木 代表取締役 木幡広宣さんから被災者として、またまちづくりに携わる一員として過酷な経験を伺ってきました。「困ったときはお互い様」「人間はどんな苦難も乗り越えられる」「人との関わりでたくさんのことを学んだ木幡さんの言葉に参加者一同感銘を受けてきました。

さらに7月11日(金)は、ホテル白萩において『センスアップセミナー』を開催。アフラック生命保険(株)仙台総合支社より藤田将史氏を講師に招き、知っておきたいお金のキホンについてお話いただきました。い個人として人生にかかわるお金について、過去の自分を振り返りながら、そして未来の自分や家族のことを想像しながら和気あいあい楽しく学びました。

女性部会会員大募集！入会初年度は年会費無料です。



税務研修会



被災地復興応援バスツアー



相馬市伝承鎮魂祈念館

『青年部会会員交流事業』を開催！

青年部会(高橋繁紀部会長)では、去る5月20日(火) 19:00より「DUCCA仙台駅前店」にて、青年部会員交流事業「仙台北法人会青年部会メンバーの絆を深めよう～顔見知りから、顔馴染みへ～」を開催しました。

新年度体制となって初の事業で、まずは部会員間の交流の促進を図るためのアイスブレイクとして位置づけ、41人の部会員が事業に参加しました。年代別に振り分けられたグループ対抗のゲームなど、様々な趣向を凝らし、メンバー間の緊張を解すことができました。

この事業を持っていよいよ高橋繁紀部会長体制が本格スタート。これ以降も様々な事業が企画されており、さらに多くの部会員間交流が進む良い契機になりました。



『仙台北法人会青年部会員の仕事をろう！』を開催！

青年部会(高橋繁紀部会長)では、去る6月17日(火)18:00～「パレスへいあん」にて、「部会員間の人脈を広げる」をテーマに当仙台北法人会青年部会員間でのビジネス交流事業を参加者40名で実施しました。

始めに令和6年度入会の新入部会員の紹介をし、各テーブルでは部会員の自社事業の「伸ばしたい！試したい！解決したい！」事柄を発表し、互いのビジネス発展を模索しました。懇親会では、会社経営者ならではの悩みを発表し参加者全員で解決に向けて話し合いました。

今後も活発な部会員間のビジネス交流実現に向けて活動していきたいと考えております。

青年部会会員大募集中！詳しくは→ <https://kitaho.or.jp/yg88>



支部別会員数 2025年8月31日現在

法人会入会のお声がけをしよう！

黒川
211社(±0)

泉東
231社(+2)

泉西
209社(±0)

宮城
149社(±0)

北西
307社(±0)

中央
242社(±0)

北東
289社(+2)

管轄外の賛助会員
93社(+2)

合計1,731社(+6) ※()内は2025年5月末会員数からの増減 ※管轄外の賛助会員は、仙台北税務署管轄外に所在する法人及び個人等。

きたほTaxフェスティバル

日時 令和7年

10月25日 土

12:30~
15:50



入場
無料

会場 せんだいメディアテーク 1階 オープンスクエア

〒980-0821
仙台市青葉区春日町2-1

「税」をテーマに小学生の皆さんに描いてもらった絵はがきの
展示や、ステージパフォーマンスを観ながら税について一緒に
楽しく考えてみませんか？

仙台育英学園高等学校

書道
パフォーマンス



仙台市立第一中学校
仙台市立北仙台小学校
『水の森合奏団』
吹奏楽演奏

皆さんのご参加をお待ちしています
(公社)仙台北法人会 青年部会

小・中学生対象

租税教室

予約
不要

税の絵はがき

展示コーナー

「第18回税に関する絵はがき
コンクール」応募作品を展示。

展示された絵はがきから
「税の絵はがきカルタ」にする作品を選ぼう！

司会



モデル・タレント
中野美咲

タイムテーブル

時間	内容
	開場・受付開始(12:10)
12:30~	「書道パフォーマンス」 仙台育英学園高等学校書道部
13:00~	「第18回税に関する絵はがきコンクール」 会長挨拶 税に関する絵はがきコンクール表彰 税に関する高校生の作文表彰
13:30~	「吹奏楽演奏」 仙台市立第一中学校 仙台市立北仙台小学校『水の森合奏団』
15:00~	「租税教室」 (公社)仙台北法人会 青年部会
15:50~	閉会(15:50)

お問い合わせ先(仙台北法人会)

※予告なくプログラムを変更する場合がございます。
予めご了承ください。

022-263-0151

<https://kitaho.or.jp/>

仙台北法人会

検索



その安心で、
企業とともに未来をつくる。

企業保障

DAIDO 大同生命
仙台支社/
宮城県仙台市青葉区大町1-1-1
(大同生命仙台青葉ビル3F)
TEL 022-221-5486

経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る!

Business Guard

AIG損害保険株式会社 仙台支店 TEL.022-221-2532

政府認定の上場企業
ハイパー任意労災
(業務災害総合保障)

企業向け第三者賠償責任保険
ALL STARS
(事業賠償・費用総合保障)

火災と地震災害に備える
プロパティーガード
+ 企業地震保障
(企業地震保険・財産損害賠償責任保険)

個人情報の漏えい事故対策
情報漏えいカード
(個人情報保護法対応)

22-073003

Afiac「生きる」を創る。

仙台総合支社
〒980-6122 仙台市青葉区中央1-3-1 アエル22階
法人会 020 0120-876-505

発行所/公益社団法人 仙台北法人会 発行人/会長 菅原 裕典

〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3番22号(仙台ビルディング6階) 電話/022(263)0151 FAX/022(268)0205

編集/公益事業推進委員会 委員長 片桐 健司 印刷/笹氣出版印刷株式会社

きたほHotLineは皆様の会費によって製作されています。

きたほ
Hot Line

最新情報はホームページへ
<https://kitaho.or.jp/>

仙台北法人会

検索

